

保護者様

横浜市立西前小学校
校長 石川 隆一

平成29年度 全国学力・学習状況調査(6年生)の結果概要について

先週末の「にしまえコンサート」には多くの保護者の皆様のご参観を賜り、感謝申し上げます。

さて、平成29年4月に実施いたしました標記の調査につきまして、結果と考察がまとまりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。また学校ホームページでも公開しておりますので、ご参照いただければ幸いです。

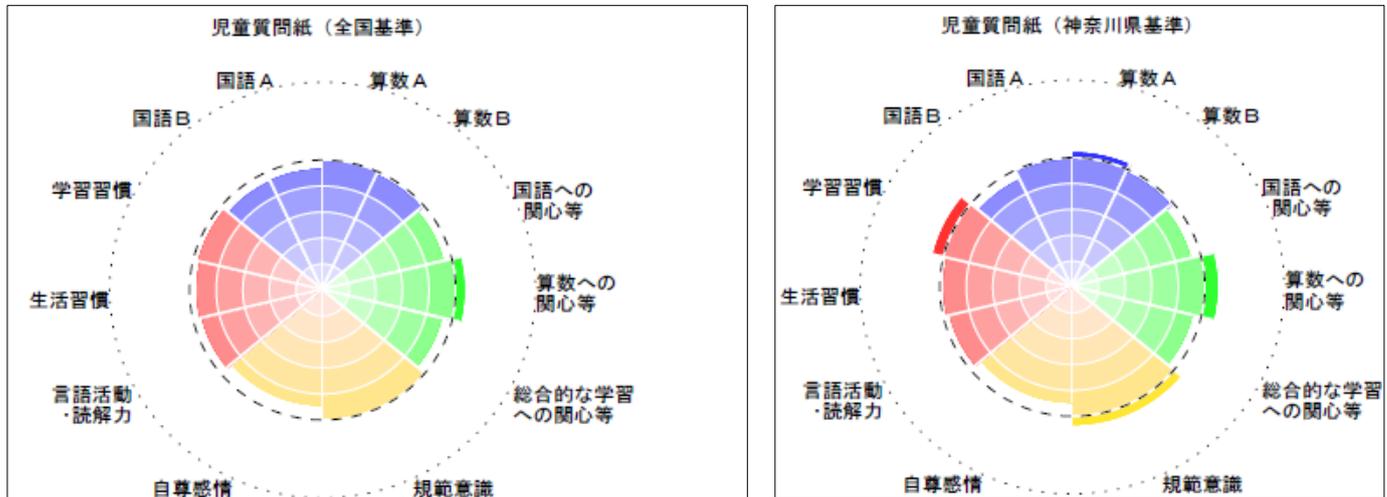
1 国語科、算数科の平均正答率について

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)
西前小学校	72.0%	54.0%	78.0%	44.0%
神奈川県(公立)	73.0%	57.0%	77.0%	46.0%
全国(公立)	74.8%	57.5%	78.6%	45.9%

【考察】

上記の結果を受けまして、どの学習においても基礎となる言語能力を高めるため、本や新聞などに触れる機会を増やし、言葉で正確に理解したり考えたりする力を高めていくよう指導していきます。また、最後まで根気強く取り組む姿勢など主体的に学ぶ態度を育てていきます。さらに、言葉で適切に表現する力を伸ばすために、国語科の学習以外の場面でも、普段から自分の考えや気持ちを書いたり話したりして表現する機会を増やしていきます。算数では、基本的な計算や文章題を読み取って適切に立式することはできていますが、式の意味を説明したり、式の中の数値の意味を解釈したりすることに課題があるという結果が見られました。公式や計算の方法などをただ暗記するのではなく、なぜそうなるのかを考える習慣を身につけ、説明する機会を増やし、「数学的な考え方」を深めていくような授業に取り組んでいきます。学力・学習の状況には個人差もありますので、個別に指導をしたり、課題が見られる内容について繰り返し指導したりしながら、よりわかりやすく、楽しい学習をすすめていきます。

2 学力・学習状況調査(質問紙)の結果



※ 上記の円グラフの点線(---)の円が、左右それぞれ全国、神奈川県の平均値です。点線より、外側にあるものは、平均を上回る状況、円の内側にあるものは、平均を下回る状況と見ることができます。

【考察】

規範意識が高いという結果が得られました。やるべきことを責任をもってしっかり行おうという日常生活の姿と一致していると思われます。その反面、自分で考え、判断して、自主的に行動する力に課題が見られます。一方「自分にはよいところがある」という回答をした児童は、県や国の平均が40%であるのに対し、本校では20%であり、自尊感情に課題が見られます。それが「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが苦手」(50%)という意識につながっていると考えられます。日常の授業や学校行事の中で、自尊感情を高める指導を重ねていきます。

学習面では、「学校の復習をしている」という項目で「している」が52%、「あまり、または全くしていない」が48%と二極化している実態が見られました。引き続き、自ら主体的に学習に取り組む態度を育てる指導を積み重ねていきます。また、読書時間、図書室・図書館の利用回数については、県や全国平均に比べ低い結果になりました。本に触れる機会の少なさが、学習の基本となる「言葉で正確に理解したり、考えたりする力」に課題が見られる要因の一つになっていると考えられます。担任と学校司書との連携をさらに図りながら、朝読書など、本に触れる機会を増やしていきます。

生活面では「1日のテレビゲームに費やす時間」で「4時間以上」と答えた児童が10%、「1時間以下、全くしない」と答えた児童が46%、「ケータイ、スマホに費やす時間」も「4時間以上」が1.4%、「30分より少ない、持っていない」が70%と家庭での過ごし方にも様々な姿が見られました。学校の指導だけでは改善が難しい面もありますので、ご家庭でも上手な時間の使い方や好ましい学習・生活習慣など、もう一度話し合ってください。

「学校に行くのが楽しい」「算数が好き」と感じている児童が全国平均を上回っていたことはうれしい結果でした。今後も中学校併設型(小中一貫型)小学校として西中学校との連携を深め、子どもたちのよりよい成長のために指導を充実させていきたいと考えます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力を引き続きお願いいたします。